

第2回通学安全部会 次第

日時：令和8年8月19日（水）午後5時30分

場所：山ノ内町役場 4階 401会議室

1. 開 会

2. 部会長あいさつ

3. 通学方針にかかるたたき台について

4. 次回部会について

令和8年9月25日（金）準備委員会（専門部会合同）

5. 閉 会

【通学・安全部会】 名簿

役職	所属	氏名	備考
部 会 長	西小学校長	神田 和幸	
副部会長	主任児童委員	佐藤 重子	
部 員	東小学校 P T A	関 裕美子	
部 員	ほなみ保育園保護者会	下田 玲奈	
部 員	かえで保育園保護者会	望月和佳奈	
部 員	西小学校 P T A	外山 平	
部 員	オブザーバー	畔上 恵子	
部 員	オブザーバー	平原 剛	
部 員	オブザーバー	瀬川 夏実	
部 員	東小学校教員代表	小林 悠希	

通学方針たたき台 その1（各戸中学校からの距離ベース）

パターン① 徒歩圏内を 1.8 km（30 分～36 分）、ほかスクールバス

スクールバスに乗る人数

西小学校区	人数	
須賀川 ※1 年生～9 年生	29 人	
前坂	4 人	低学年 2 人・高学年 2 人
横倉	30 人	低学年 11 人・高学年 19 人
宇木	20 人	低学年 14 人・高学年 6 人
本郷	19 人	低学年 7 人・高学年 12 人
合計	102 人	

南小学校区	人数	
菅・寒沢	8 人	低学年 3 人・高学年 5 人
佐野	21 人	低学年 10 人・高学年 11 人
角間	2 人	低学年 1 人・高学年 1 人
戸狩	12 人	低学年 5 人・高学年 7 人
合計	43 人	

東小学校区	人数	
沓野	13 人	低学年 8 人・高学年 5 人
上林	3 人	低学年 2 人・高学年 1 人
渋・横湯	3 人	高学年 3 人
湯ノ原	11 人	低学年 5 人・高学年 6 人
合計	30 人	

※人数は徒歩圏内 1.8 kmを外れる児童の数（1～6 年生）

スクールバス配置案

	須賀川	前坂	横倉	宇木	本郷	菅・寒沢	佐野	角間	戸狩	沓野・安代	上林	渋・横湯	湯ノ原	合計	備考
1 台	15	4	9											28	須賀川→前坂→横倉→中学校
2 台	14		12											26	須賀川→横倉→中学校
3 台			9	20	19									48	宇木→横倉→中学校／本郷→中学校 ※ピストン
4 台						8	21	2	12					43	戸狩→南小学校→中学校／南小学校→中学校 ※ピストン
5 台										13	3	3	11	29	上林→東小学校→中学校／東小学校→中学校 ※ピストン
合計	29	4	30	20	19	8	21	2	12	13	3	3	11	175	

スクールバス台数 5 台

※夜間瀬駅から 1.3m の範囲を電車通学（3 年から 6 年生限定：対象 45 人）としても、スクールバスの台数変わらず

※戸狩を除く南小学校区はバス停が南小、上林を除く東小学校区はバス停が東小

※東小学校区は長電バス（奥志賀高原線：対象 30 人）にすることで、スクールバスの台数 1 台減 ※対象 30 人は多いか？

パターン② 徒歩圏内を 2.0 km (33 分～40 分)、ほかスクールバス

スクールバスに乗る人数

西小学校区	人数	
須賀川 ※1 年生～9 年生	29 人	
前坂	4 人	低学年 2 人・高学年 2 人
横倉	29 人	低学年 11 人・高学年 19 人
宇木	20 人	低学年 14 人・高学年 6 人
本郷	18 人	低学年 7 人・高学年 11 人
合計	100 人	本郷△1

南小学校区	人数	
菅・寒沢	8 人	低学年 3 人・高学年 5 人
佐野	19 人	低学年 10 人・高学年 9 人
角間	2 人	低学年 1 人・高学年 1 人
戸狩	8 人	低学年 4 人・高学年 4 人
合計	37 人	佐野△2・戸狩△4

東小学校区	人数	
沓野	10 人	低学年 5 人・高学年 5 人
上林	3 人	低学年 2 人・高学年 1 人
渋・横湯	1 人	高学年 1 人
湯ノ原	8 人	低学年 4 人・高学年 4 人
合計	22 人	沓野△3・渋△2・湯ノ原△3

※人数は徒歩圏内 2.0 kmを外れる児童の数（1～6 年生） ※△（減少数は徒歩 1.8 kmと比較して）

スクールバス配置案

	須賀川	前坂	横倉	宇木	本郷	菅・寒沢	佐野	角間	戸狩	沓野・安代	上林	渋・横湯	湯ノ原	合計	備考
1 台	15	4	9											28	須賀川→前坂→横倉→中学校
2 台	14		14											28	須賀川→横倉→中学校
3 台			7	20	18									45	横倉→宇木→中学校／本郷→中学校 ※ピストン
4 台						8	19	2	8					37	戸狩→南小学校→中学校／南小学校→中学校 ※ピストン
5 台							0	0		10	3	1	8	22	上林→沓野→渋・横湯→湯ノ原→中学校 ※ピストン
合計	29	4	30	20	18	8	20	2	8	9	3	3	11	159 人	

スクールバス 5 台

※夜間瀬駅から 1.3m の範囲を電車通学（**3 年生から 6 年生限定：対象 45 人**）にすることで、スクールバスの台数 1 台減

※戸狩を除く南小学校区はバス停が南小、上林を除く東小学校区はバス停が東小

※東小学校区は長電バス（奥志賀高原線：対象 22 人）にすることで、スクールバスの台数 1 台減

パターン③ 徒歩圏内を低学年は 2.0 km（33 分～40 分）、高学年は 2.4 km（40 分～48 分）、ほかスクールバス

スクールバスに乗る人数

西小学校区	人数	
須賀川 ※1 年生～9 年生	29 人	
前坂	4 人	低学年 2 人・高学年 2 人
横倉	23 人	低学年 11 人・高学年 12 人
宇木	20 人	低学年 14 人・高学年 6 人
本郷	14 人	低学年 7 人・高学年 7 人
合計	90 人	横倉△6・本郷△4

南小学校区	人数	
菅・寒沢	8 人	低学年 3 人・高学年 5 人
佐野	10 人	低学年 10 人
角間	2 人	低学年 1 人・高学年 1 人
戸狩	6 人	低学年 4 人・高学年 2 人
合計	26 人	佐野△9・戸狩△2

東小学校区	人数	
沓野	9 人	低学年 5 人・高学年 4 人
上林	3 人	低学年 2 人・高学年 1 人
渋・横湯	0 人	
湯ノ原	5 人	低学年 4 人・高学年 1 人
合計	17 人	沓野△1・横湯△1・湯ノ原△3

※人数は徒歩圏内 2.4 kmを外れる児童数（1～6 年生） ※△（減少数は徒歩 2.0 kmと比較して）

スクールバス配置案

	須賀川	前坂	横倉	宇木	本郷	菅・寒沢	佐野	角間	戸狩	沓野・安代	上林	渋・横湯	湯ノ原	合計	備考
1 台	15	4	9											28	須賀川→前坂→横倉→中学校
2 台	14		14											28	須賀川→横倉→中学校
3 台			0	20	14									34	宇木→中学校／本郷→中学校 ※ピストン
4 台					0	8	10	2	6					26	戸狩→菅・寒沢→佐野→角間→中学校 ※ピストン
5 台						0	0	0	0	9	4	0	5	17	上林→沓野→湯ノ原→中学校
合計	29	4	23	20	11	8	10	2	6	6	4	0	2	130	

スクールバス 5 台

※戸狩を除く南小学校区はバス停が南小、上林を除く東小学校区はバス停が東小 →バス停は各集落へ

★東小学校区は長電バス（奥志賀高原線：対象 17 人）にすることで、スクールバスの台数 1 台減

★西部地区の電車バス通学 1.3 km（3 年生から 6 年生：対象 45 人）にすることで、スクールバスの台数 1 台減

☆東小長電バス＋西小電車バスでマイクロ 3 台

●夜間瀬駅の設定 1.3 kmとした理由・・本郷・横倉・宇木の高学年で自宅から夜間瀬駅までの距離が 0.13m～1.3 kmの範囲にいる児童 45 人 、 1.7 km～2.1 kmの範囲にいる児童 3 人
＝本郷・横倉・宇木・前坂の 3 年生から 6 年生児童で通学方針たたき台上は電車バス通学でない児童は 7 人（希望により、電車バス通学にしてもよいと考える）

通学方針たたき台 その 2（各集落の中心と中学校からの距離ベース）

パターン① 徒歩圏内を 1.8 km（30 分～36 分）、ほかスクールバス

スクールバスに乗る人数

西小学校区	人数	
須賀川 ※1 年生～9 年生	29 人	
前坂	4 人	低学年 2 人・高学年 2 人
横倉	30 人	低学年 11 人・高学年 19 人
宇木	20 人	低学年 14 人・高学年 6 人
本郷	19 人	低学年 7 人・高学年 12 人
合計	102 人	

南小学校区	人数	
菅・寒沢	8 人	低学年 3 人・高学年 5 人
佐野	21 人	低学年 11 人・高学年 10 人
角間	2 人	低学年 1 人・高学年 1 人
戸狩	15 人	低学年 6 人・高学年 9 人
合計	46 人	

東小学校区	人数	
沓野	13 人	低学年 8 人・高学年 5 人
上林	3 人	低学年 2 人・高学年 1 人
渋・横湯	3 人	高学年 3 人
湯ノ原	9 人	低学年 4 人・高学年 5 人
合計	28 人	

※人数は徒歩圏内 1.8 kmを外れる児童の数（1～6 年生）

スクールバス配置案

	須賀川	前坂	横倉	宇木	本郷	菅・寒沢	佐野	角間	戸狩	沓野・安代	上林	渋・横湯	湯ノ原	合計	備考
1 台	15	4	9											28	須賀川→前坂→横倉→中学校
2 台	14		12											26	須賀川→横倉→中学校
3 台			9	20	19									48	宇木→横倉→中学校／本郷→中学校 ※ピストン
4 台						8	21	2	15					46	戸狩→南小学校→中学校／南小学校→中学校 ※ピストン
5 台										13	3	3	9	28	上林→沓野→渋・横湯→湯ノ原→中学校
合計	29	4	30	20	19	8	21	2	15	13	3	3	9	176	

スクールバス台数 5 台

※夜間瀬駅から 1.3m の範囲を電車通学（**3 年生から 6 年生限定：対象 45 人**）としても、スクールバスの台数変わらず

※戸狩を除く南小学校区はバス停が南小

★東小学校区は長電バス（奥志賀高原線：対象 28 人）にすることで、スクールバスの台数 1 台減 ※対象 28 人は多いか？

パターン② 徒歩圏内を 2.0 km (33 分～40 分)、ほかスクールバス

スクールバスに乗る人数

西小学校区	人数	
須賀川 ※1 年生～9 年生	29 人	
前坂	4 人	低学年 2 人・高学年 2 人
横倉	29 人	低学年 11 人・高学年 19 人
宇木	20 人	低学年 14 人・高学年 6 人
本郷	17 人	低学年 6 人・高学年 11 人
合計	99 人	本郷△2

南小学校区	人数	
菅・寒沢	8 人	低学年 3 人・高学年 5 人
佐野	18 人	低学年 10 人・高学年 8 人
角間	2 人	低学年 1 人・高学年 1 人
戸狩	8 人	低学年 4 人・高学年 4 人
合計	36 人	佐野△3・戸狩△7

東小学校区	人数	
沓野	10 人	低学年 5 人・高学年 5 人
上林	3 人	低学年 2 人・高学年 1 人
渋・横湯	3 人	高学年 3 人
湯ノ原	4 人	低学年 2 人・高学年 2 人
合計	20 人	沓野△3・湯ノ原△4

※人数は徒歩圏内 2.0 kmを外れる児童の数（1～6 年生） ※△（減少数は徒歩 1.8 kmと比較して）

スクールバス配置案

	須賀川	前坂	横倉	宇木	本郷	菅・寒沢	佐野	角間	戸狩	沓野・安代	上林	渋・横湯	湯ノ原	合計	備考
1 台	15	4	9											28	須賀川→前坂→横倉→中学校
2 台	14		14											28	須賀川→横倉→中学校
3 台			6	20	17									44	横倉→宇木→中学校／本郷→中学校 ※ピストン
4 台						8	18	2	8					37	戸狩→南小学校→中学校／南小学校→中学校 ※ピストン
5 台							0	0		10	3	3	4	20	上林→沓野→渋・横湯→湯ノ原→中学校
合計	29	4	29	20	17	8	18	2	8	10	3	3	4	155 人	

スクールバス 5 台

※夜間瀬駅から 1.3m の範囲を電車通学（**3 年生から 6 年生：対象 45 人**）することで、スクールバスの台数 1 台減

※戸狩を除く南小学校区はバス停が南小

★東小学校区は長電バス（**奥志賀高原線：対象 20 人**）にすることで、スクールバスの台数 1 台減

パターン③ 徒歩圏内を低学年は 2.0 km（33 分～40 分）、高学年は 2.4 km（40 分～48 分）、ほかスクールバス

スクールバスに乗る人数

西小学校区	人数	
須賀川 ※1 年生～9 年生	29 人	
前坂	4 人	低学年 2 人・高学年 2 人
横倉	23 人	低学年 11 人・高学年 12 人
宇木	20 人	低学年 14 人・高学年 6 人
本郷	13 人	低学年 6 人・高学年 8 人
合計	89 人	横倉△6・本郷△4

南小学校区	人数	
菅・寒沢	8 人	低学年 3 人・高学年 5 人
佐野	10 人	低学年 10 人
角間	2 人	低学年 1 人・高学年 1 人
戸狩	4 人	低学年 4 人
合計	24 人	佐野△8・戸狩△4

東小学校区	人数	
沓野	5 人	低学年 5 人
上林	3 人	低学年 2 人・高学年 1 人
渋・横湯	0 人	
湯ノ原	2 人	低学年 2 人
合計	10 人	沓野△5・横湯△3・湯ノ原△2

※人数は徒歩圏内 2.4 kmを外れる児童数（1～6 年生） ※△（減少数は徒歩 2.0 kmと比較して）

スクールバス配置案

	須賀川	前坂	横倉	宇木	本郷	菅・寒沢	佐野	角間	戸狩	沓野・安代	上林	渋・横湯	湯ノ原	合計	備考
1 台	15	4	9											28	須賀川→前坂→横倉→中学校
2 台	14		14											28	須賀川→横倉→中学校
3 台			0	20	13									33	宇木→中学校／本郷→中学校 ※ピストン
4 台					0	8	10	2	4					24	戸狩→菅・寒沢→佐野→角間→中学校 ※ピストン
5 台						0	0	0	0	5	3	0	2	10	上林→沓野→湯ノ原→中学校
合計	29	4	23	20	11	8	10	2	4	5	3	0	2	123	

スクールバス 5 台

※戸狩を除く南小学校区はバス停が南小、上林を除く東小学校区はバス停が東小 →バス停は各集落へ

★東小学校区は長電バス（奥志賀高原線：対象 10 人）にすることで、スクールバスの台数 1 台減（対象 10 人）

★西部地区の電車バス通学 1.3 km（3 年生から 6 年生限定：対象 45 人）にすることでスクールバスの台数 1 台減

☆東小長電バス＋西小電車バスでマイクロ 3 台

●夜間瀬駅の設定 1.3 kmとした理由・・・本郷・横倉・宇木の高学年で自宅から夜間瀬駅までの距離が 0.13m～1.3 kmの範囲にいる児童 45 人、1.7 km～2.1 kmの範囲にいる児童 3 人
＝本郷・横倉・宇木・前坂の 3 年生から 6 年生児童で通学方針たたき台上は電車バス通学でない児童は 7 人（希望により、電車バス通学にしてもよいと考える）

通学方法に係る保護者意見（懇談会及びアンケートより）

●スクールバスに対する意見

- ・現南小学校（あるいは各集落・地区）までスクールバスが来てくれると一番ありがたい。特に冬場や、近年の夏の猛烈な暑さを考慮すると、季節に応じたバス運行を強く希望する。
- ・現在の中学３年生の在学中などに、冬場だけでも試験的に遠方からのスクールバス運行（ピストン輸送など）を実施してみてもどうか。
- ・町でバスを所有できても、運転手（シルバー人材センターや民間交通会社への委託など）の確保が全国的なドライバー不足により極めて困難である。
- ・バスの購入や維持、有資格者の配置には莫大な経費がかかり、財政面のネックが大きい。スキー部のキャラバン車両１台を買うのにも苦労している財政リアルがある。
- ・夏場の高温が長期化して熱中症がかなり心配なので、夏場だけでもスクールバスを徒歩圏内の子供も利用出来るようにしてほしい。
- ・小学生の間はスクールバスでの送迎を希望。中学生の学齢でも希望すればスクールバスでの送迎があると助かります。運転手の確保が難しい等あると思うので補助等あれば電車での通学も良いかと思います。
- ・現状、冬季だけでも南小学区内でのスクールバスの試験的運用を検討頂ければ幸いです。中学生でも、自転車通学の生徒も冬季は徒歩になります。
- ・バス運転手の確保。
- ・可能でしたらスクールバスが家付近までであるとありがたいですが、周りに子供が少ないので回ってもらうのも申し訳ない気がします。
- ・自宅周辺でバスに乗って登校するのではなく、現在通っている小学校の近くまでは徒歩で行き、そこからバスに乗って通学というような形も良いのではないのでしょうか。
- ・自宅から学校までの距離で通学方法が変わると思うが、人数も少なくなっているので、距離は短めで設定してもらえると助かる
- ・小学生の時は中学校までバスで通わせたい。距離が遠く、登下校に体力を使い勉強に集中できないのではないかと不安。
- ・自宅の前にとまるような個別対応は現実的ではない。
- ・基本的には各地区の集会所や学校、長電バスや楽ちんバスの既存バス停などが望まし

い。

- ・夏場、帰りのバスに乗る際に星川のバス停で熱中症になった子供がいる。バス停で長い時間待つことがないように、バスの時間ぎりぎりまで学校にいられるなどの配慮が欲しい。また、クマの危険などもあるため、できるだけ、子供一人でバス停にて待っていることがないようににしたい。
- ・基本はバス通学で、防犯として、徒歩通学の場合は集団で登下校する仕組みがあれば好ましいと思います
- ・雪のある時期はスクールバス、雪のない時期は徒歩
- ・中学生は歩きでいいと思いますが、小学生は危険も多いのでスクールバスがいいと思います。
- ・小学生低学年で 30 分以上は歩かせられない、距離がありすぎて車とかが心配。
- ・小学生で長い距離を歩くのは、交通事故や犯罪に巻き込まれたり、クマの被害など不安があります。スクールバスだと安心です。

●学年による通学方法の分けに対する意見

- ・小学生のうちは安全面への配慮から、バス通学を希望するが、バスの台数や運転手の確保、予算的な制約もあるため、6年生までではなく、4年生まではバスなど、一定の区切りも検討してはどうか。
- ・佐野地区などの低学年の子どもにとっては、新しい学校まで信号のある道を歩くのは体力的にかなり厳しい。例えば、低学年はスクールバス、高学年は徒歩などがよい。ただし、子供の歩く距離が今までよりも長くなるため、集団で通学できる仕組みがあるとよい。
- ・1年生～9年生では体力も違うし、安全面での心配事も変わってくると思われる。そのため、歩く距離や通学方法が違ってても良いと思う。
- ・高学年になれば歩いて通学できると思いますが、坂も多いので、低学年のうちは少し心配です。
- ・高学年と低学年の登校方法には差があっても良い気がします。低学年は高学年が簡単に歩ける距離を歩かせるのは難しいと思います。

●歩かせたいという意見

- ・戸狩地区でも原地区は新しい学校のほうが近くなり、子供の体力向上を考えると歩かせたい。
- ・体力作りの観点から「少しでも歩かせた方が良い」という意見もある。
- ・体力づくり等のためにもできるだけ徒歩での通学が良いと思いますが、小学校一年生にとっては、自宅から徒歩で通学できるのか心配ではあります。
- ・通学は歩けるうちは歩いたほうが良い
- ・徒歩が第一希望だが、現状を考えると送迎希望が多いようなら、個々家庭で送迎よりはせめてスクールバスの方がまだマシかなと思います
- ・徒歩は心配もあるが、体力をつけるために、ある程度は必要かとも思う。
- ・全てスクールバスのほかに、徒歩である程度行きそこからスクールバス(徒歩+スクールバス)のパターンも一案として検討していただきたいです。

●公共交通機関に対する意見

- ・文部科学省の徒歩基準（4km）は、熱中症や治安（熊の出没など）の面から低学年には非常に厳しく、スクールバスの運行範囲の検討、自転車通学の許可基準、公共交通（電車）の利用を含めた柔軟な検討をして欲しい。
- ・電車通学について、運行する時間が登下校時刻に合うのであれば電車通学でよいと思う。ただし、1・2年生はスクールバスで3年生から電車などの対応を検討してほしい。また、そうでないなら登校班を編成するなど、低学年の電車通学が安全に行えるような仕組みがよい。低学年は下校時刻が早く単独での下校となる可能性があることへの心配、寝過ごしして夜間瀬駅で下車し損ねることへの心配がある。
- ・将来の高校通学を見据え、早い段階から公共交通機関に乗る練習・経験をさせられるため、電車通学も良いと感じる
- ・長野電鉄による電車通学について、低学年（特に1年生）の乗り過ごしや安全面への不安に対し、「GPS（ランドセル装着）」の活用や、車内での優先席配置、運転手への声かけ協力、駅・地域ごとの色分けタグ（鞆に付ける）による視覚的な識別をすることで、解消できるのではないかと。
- ・電車とバスのダイヤの都合上、場合によっては、長野電鉄と長電バス（上林線）を組

み合わせた通学でも保護者としては、構わない。

- ・町内を走る長野電鉄を小学生の通学に利用することについて、自腹で行くのですぐにでも解禁し来年あたりからでもすぐに認めてほしい。
- ・電車通学が認められれば、朝の送迎をしている保護者の負担が大幅に減り、親の職業（パート等の勤務時間）の幅も広がるため助かるのではないか。
- ・下校時に路線バスも使える仕組みを確立できれば、スクールバス運行の心配を軽減できるのではないか。
- ・自転車通学許可の距離を緩和、公共交通機関使用を柔軟にしてほしい。
- ・公共交通機関を使っても良いと思います。志賀高原保育園に通っていた際は定期バスに、観光客と乗り、色々な経験が出来たので、そのように感じます。
- ・最寄りのバス停から公共交通機関の路線バスを利用して義務教育課程の学校へ通学できる環境の維持を希望します。なお、路線バスの減便や廃止等によりスクールバスへ移行する場合においても、これまでと同様に児童が徒歩で通える範囲のバス停から乗車できるよう配慮をお願いいたします。また、徒歩圏内に利用可能なバス停が確保できない場合には、オンライン授業等の選択肢を設けるなど、居住地にかかわらず全ての児童が等しく教育を受けられる環境を整備していただくことを要望します。
- ・スクールバスが良いと回答したが 実際には公共交通機関の利用が現実的だと思う。スクールバスだと、山の駅まで送迎してきてください、そこからみんな一緒に学校まで送ります。じゃ 意味がない。山の駅までどんだけ時間がかかるんだ！と、朝の往復だけで仕事に支障が出る家は多々ある。スクールバスなら、各地区を回ってもらわないと各家庭の負担が半端ない。
- ・公共交通機関になるのであれば定期代金は町で全額負担していただきたい。今も沓野からは歩けるのだから、山からそこまでの料金は補助、沓野から大噴泉までの料金は各家庭持ち。沓野から歩けるとされているが、今の時刻表で沓野で降ろされても到底歩いて学校には間に合わない。今も義務教育で時刻表もかわり、全額町負担でもいいと思う。おかしい。本数が少なすぎて、公共交通機関であって、公共交通機関の意味をなしていない。そこは町で、国で負担してもらいたい。

参考資料

東小学校区

行政区	集落の中心と中学までの距離			現状の通学方法
志賀高原		1年生～3年生	0	路線バス
		4年生～6年生	2	
		7年生～9年生	5	
上林	3.4	1年生～3年生	2	2.4km 徒歩
		4年生～6年生	1	
沓野原 美明	3.1	1年生～3年生	1	2.0km 徒歩
		4年生～6年生	0	
横丁、新屋、沓野沢 沓野上、沓野中、沓野下一	2.4	1年生～3年生	4	1.3km 徒歩
		4年生～6年生	5	
沓野下二	2	1年生～3年生	3	0.9km 徒歩
		4年生～6年生	0	
天川	2.6	1年生～3年生	0	1.5km 徒歩
		4年生～6年生	0	
湯ノ原一	1.8	1年生～3年生	1	1.2km 徒歩
		4年生～6年生	1	
湯ノ原二 町住	2	1年生～3年生	2	1.4km 徒歩
		4年生～6年生	3	
湯ノ原三	2.3	1年生～3年生	2	1.7km 徒歩
		4年生～6年生	2	
渋	2.1	1年生～3年生	0	0.9km 徒歩
		4年生～6年生	2	
横湯	2.3	1年生～3年生	0	1.1km 徒歩
		4年生～6年生	1	

南小学校区

行政区	集落の中心と中学までの距離			現状の通学方法
宮	2.2	1年生～3年生	4	0.4km 徒歩
		4年生～6年生	4	
薬師	2.3	1年生～3年生	4	0.4km 徒歩
		4年生～6年生	1	
佐野上	2.4	1年生～3年生	2	0.7km 徒歩
		4年生～6年生	3	
横堰	1.7	1年生～4年生	7	0.35km 徒歩
		4年生～7年生	6	
鑑堂	1.9	1年生～5年生	1	0.4km 徒歩
		4年生～8年生	1	
立川	1.9	1年生～3年生	0	0.5km 徒歩
		4年生～6年生	1	
角間	2.9	1年生～3年生	1	2.0km 徒歩
		4年生～6年生	1	
寒沢	3.2	1年生～3年生	1	1.3km 徒歩
		4年生～6年生	0	
菅一 菅二	3.9	1年生～3年生	2	2.1km 徒歩
		4年生～6年生	5	
伊沢	2.3	1年生～3年生	1	1.7km 徒歩
		4年生～6年生	2	
仲屋敷	2.5	1年生～3年生	3	1.8km 徒歩
		4年生～6年生	0	
箱山	2.4	1年生～3年生	0	2.3km 徒歩
		4年生～6年生	2	
戸狩原	1.9	1年生～3年生	2	2.0km 徒歩
		4年生～6年生	5	

西小学校区

行政区	集落の中心と 中学までの距離	集落の中心と 夜間瀬駅までの距離	児童数		現状の通学方法
本郷一	1.9	0.65km	1年生～3年生	1	1.0km 徒歩
			4年生～6年生	1	
本郷二	2.5	0.45km	1年生～3年生	4	0.75km 徒歩
			4年生～6年生	6	
本郷三	2.3	0.08km	1年生～3年生	3	0.19km 徒歩
			4年生～6年生	4	
横倉一	2.3	0.7km	1年生～3年生	7	0.6km 徒歩
			4年生～6年生	7	
横倉二	2.7	1.2km	1年生～3年生	4	1.1km 徒歩
			4年生～6年生	12	
横倉三	2.6	1.3km	1年生～3年生	1	1.2km 徒歩
			4年生～6年生	1	
宇木一	3.2	1.0km	1年生～3年生	6	1.2km 徒歩
			4年生～6年生	3	
宇木二	3.1	1.0km	1年生～3年生	5	1.1km 徒歩
			4年生～6年生	2	
宇木三	3.9	1.8km	1年生～3年生	3	1.9km 徒歩
			4年生～6年生	1	
前坂	3.8	2.2km	1年生～3年生	2	2.0km 徒歩
			4年生～6年生	2	
高社山			1年生～3年生	0	
			4年生～6年生	0	
須賀川			1年生～3年生	14	スクールバス
			4年生～6年生	6	
			7年生～9年生	9	

(参考資料) 須賀川 生徒児童 (令和 12 年度)

- ・裏落合 3 人 (中学生 2 人、小学生 1 人)
- ・表落合 6 人 (中学生 4 人、小学生 2 人)
- ・下須賀川 5 人 (中学生 1 人、小学生 4 人)
- ・土橋 5 人 (中学生 3 人、小学生 2 人)
- ・小丸山 1 人 (小学生 1 人)
- ・中須賀川 5 人 (中学生 2 人、小学生 3 人)
- ・乗廻 1 人 (小学生 1 人)
- ・苗間 3 人 (中学生 1 人、小学生 2 人) ※うち赤坂 1 人

計 29 人 (バス 2 台)

(参考資料) 志賀高原 生徒児童 (令和 12 年度)

- ・発哺 1 人 (小学生)
- ・平床 1 人 (中学生)
- ・木戸池 1 人 (中学生)
- ・奥志賀 1 人 (小学生)
- ・一ノ瀬 2 人 (中学生)

計 6 人

(参考資料) 電車・バス通学

【西小学校区】

登校 朝の会 8:15

電車 7:25 夜間瀬発 → 7:32 湯田中着

電車 7:53 夜間瀬発 → 8:00 湯田中着

下校 14:40・15:00

電車 15:59 湯田中発 → 16:04 夜間瀬着

※15:30 頃に 1 便欲しい

下校 15:55

上林線 16:29 湯田中発 → 16:38 夜間瀬着

電車 17:15 湯田中発 → 17:20 夜間瀬着

【沓野・安代・渋横湯・上林・志賀高原】

登校 朝の会 8:15

奥志賀高原線 8:02 湯田中着

下校 14:40・15:00

奥志賀高原線 15:20 湯田中発

上林線 15:57 湯田中発

下校 15:55

奥志賀高原線 16:30 湯田中発

○通学方針に関するアンケート まとめ

1 実施期間

令和8年5月26日（火）から令和8年6月19日（金）

2 対象者

581人（小学校 345人、保育園 216人、私立幼稚園及び町外保育園幼稚園 20人）

※園児、児童数

3 回答率

全体 433人（74.5%）

- ・小学校 268人（77.7%）
- ・保育園 155人（71.8%）
- ・私立幼稚園及び町外保育園幼稚園 10人（50%）

内訳）東小学校 124人／169人 73.4%、西小学校 94人／107人 86.9%、南小学校 50人／69人 72.5%

かえで保育園 71人／97人 73.2%、よませ保育園 48人／62人 77.4%、

ほなみ保育園 30人／47人 63.8%、すがかわ保育園 4人／8人 50.0%、

志賀高原保育園 2人／2人 100%、私立幼稚園及び町外保育園幼稚園 10人／20人 50.0%

※園児、児童数

4 回答内容

(1) - 1 現状の登校方法

①徒歩 153 世帯 ②自家用車 24 世帯 ③スクールバス 17 世帯 ④公共交通 8 世帯

【参考 地区別】

東小学校（徒歩 70 世帯、 自家用車 10 世帯、 公共交通 8 世帯）

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|-----------------|-----------------------|
| ・ 上条 徒歩 19 世帯、 <u>自家用車 8 世帯</u> | ・ 湯田中 徒歩 18 世帯 | ・ 星川 徒歩 8 世帯 | ・ 湯ノ原 徒歩 5 世帯 |
| ・ 沓野 徒歩 4 世帯 | ・ 湯河原 徒歩 4 世帯、 <u>自家用車 1 世帯</u> | | ・ 金倉 徒歩 4 世帯 |
| ・ みろく 徒歩 3 世帯 | ・ 渋横湯 徒歩 3 世帯 | | ・ 上林 徒歩 1 世帯 |
| ・ 安代 徒歩 1 世帯 | ・ 志賀 公共交通 8 世帯 | | ・ 天川 <u>自家用車 1 世帯</u> |

西小学校（徒歩 46 世帯、 自家用車 13 世帯、 スクールバス 17 世帯）

- | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| ・ 横倉 徒歩 17 世帯、 <u>自家用車 4 世帯</u> | ・ 宇木 徒歩 15 世帯、 <u>自家用車 4 世帯</u> | ・ 本郷 徒歩 12 世帯、 <u>自家用車 3 世帯</u> |
| ・ 前坂 徒歩 2 世帯、 <u>自家用車 2 世帯</u> | ・ 須賀川 スクールバス 17 世帯 | |

南小学校（徒歩 37 世帯、 自家用車 1 世帯）

- | | | | |
|------------------------------------|------------------|-------------------|----------------|
| ・ 佐野 徒歩 12 世帯、 <u>自家用車 1 世帯</u> | ・ 戸狩 徒歩 11 世帯 | ・ 穂波温泉 徒歩 7 世帯 | ・ 菅 徒歩 3 世帯 |
| ・ 寒沢 徒歩 3 世帯 | ・ 角間 徒歩 1 世帯 | | |

【コメント】基本的には徒歩通学が多いが、自家用車で通学もあるため、自家用車で通学の理由を探る必要がある。

(1) - 2 現在徒歩通学している距離

① 1 km未満 42 世帯 ② 1.5 km未満 39 世帯 ③ 2.0 km未満 37 世帯 ④ 0.5 km未満 22 世帯
⑤ 2.5 km未満 9 世帯 ⑥ 3.0 km未満 3 世帯 ⑦ 3.0 km以上 1 世帯

【参考 地区別】

(東小学校)・湯田中 0.5 km未満 6 世帯、1.0 km未満 6 世帯、1.5 km未満 4 世帯、2.0 km未満 2 世帯

(東小学校)・みろく 0.5 km未満 3 世帯

(東小学校)・金倉 0.5 km未満 2 世帯、1.0 km未満 1 世帯、1.5 km未満 1 世帯

(東小学校)・星川 1.0 km未満 4 世帯、1.5 km未満 4 世帯

(東小学校)・渋横湯 1.0 km未満 3 世帯

(西小学校)・横倉 1.0 km未満 6 世帯、0.5 km未満 4 世帯、1.5 km未満 4 世帯、2.0 km未満 3 世帯

(西小学校)・宇木 1.0 km未満 7 世帯、1.5 km未満 5 世帯、2.0 km未満 3 世帯

(西小学校)・本郷 1.0 km未満 5 世帯、1.5 km未満 4 世帯、0.5 km未満 3 世帯

(南小学校)・佐野 1.0 km未満 8 世帯、0.5 km未満 4 世帯

(東小学校)・湯ノ原 1.5 km未満 4 世帯、2.0 km未満 1 世帯

(東小学校)・湯河原 1.5 km未満 2 世帯、1.0 km未満 1 世帯、2.0 km未満 1 世帯

(南小学校)・穂波温泉 1.5 km未満 3 世帯、1.0 km未満 1 世帯、2.0 km未満 1 世帯、2.5 km未満 1 世帯、3.0 km以上 1 世帯

(東小学校)・安代 2.0 km未満 1 世帯

(東小学校)・上条 2.0 km未満 9 世帯、1.5 km未満 5 世帯、2.5 km未満 3 世帯、3.0 km未満 2 世帯

(東小学校)・沓野 2.0 km未満 3 世帯、1.5 km未満 1 世帯

(南小学校)・戸狩 2.0 km未満 9 世帯、1.5 km未満 1 世帯、2.5 km未満 1 世帯

(南小学校)・菅 2.0 km未満 2 世帯、2.5 km未満 1 世帯

(南小学校)・寒沢 2.0 km未満 2 世帯、1.5 km未満 1 世帯

(東小学校)・上林 2.5 km未満 1 世帯

(西小学校)・前坂 2.5 km未満 2 世帯

(南小学校)・角間 3.0 km未満 1 世帯

【コメント】現状の通学では各小学校までの距離が近い（2.0 km未満）世帯が多いが、2.5 km以上を徒歩通学している世帯もある。同じ地区においても通学の距離に 1.0 km以上差がある地区が多いことがわかる。

(1) - 3 自家用車で通学している世帯と学校との距離

- | | |
|---|---|
| ①1.0 km未満 5 世帯（横倉 3 世帯、本郷 2 世帯） | ①2.0 km未満 5 世帯（上条 2 世帯、本郷 1 世帯、宇木 2 世帯） |
| ③1.5 km未満 4 世帯（上条 2 世帯、横倉 1 世帯、天川 1 世帯） | ③2.5 km未満 4 世帯（上条 3 世帯、湯河原 1 世帯） |
| ③3.0 km未満 4 世帯（前坂 2 世帯、宇木 2 世帯） | ⑥3.0 km以上 1 世帯（上条 1 世帯） |
| ⑥0.5 km未満 1 世帯（佐野 1 世帯） | |

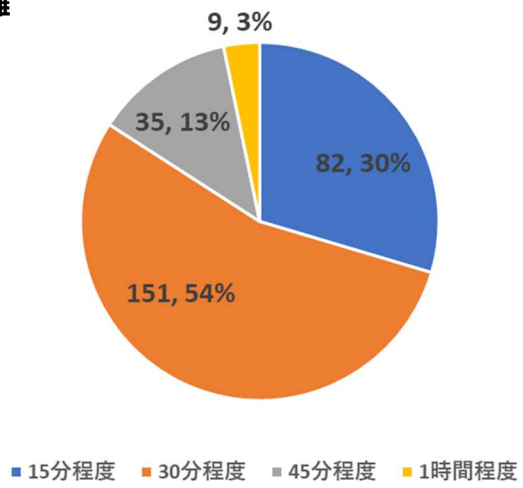
【コメント】自家用車で通学している世帯は学校との距離が 2.0 km未満の世帯が 15 世帯であり、2.0 km以上の世帯が 9 世帯である。2.0 km以上の世帯は学校との距離が遠いことから、自家用車での通学を行っていることがうかがえるが、距離が 2.0 未満の世帯は近年の猛暑やクマとの遭遇、家庭の事情等がうかがえる。

(1) - 4 現在の登校方法についての補足事項

- ・たまに車で登校しています。
- ・たまに車(雨だったり、姉の送迎のついでだったり)
- ・たまに車での送迎もある
- ・体調が優れないときは自家用車送迎
- ・たまに自家用車
- ・長電バス路線バスで登校、早朝登校の際は送迎にて自宅より 15 分の山の駅まで送り迎えあり
- ・まれにバスを利用することもあります
- ・たまに車
- ・集団で登校している。
- ・ひどい悪天候でなければ徒歩登校してほしい方針だが、現状周りの上級生含め近所は車送迎が多いので、毎回話し合いをした後に送り出しています。
- ・家が遠いため、登校班の日以外は車で送迎しています。

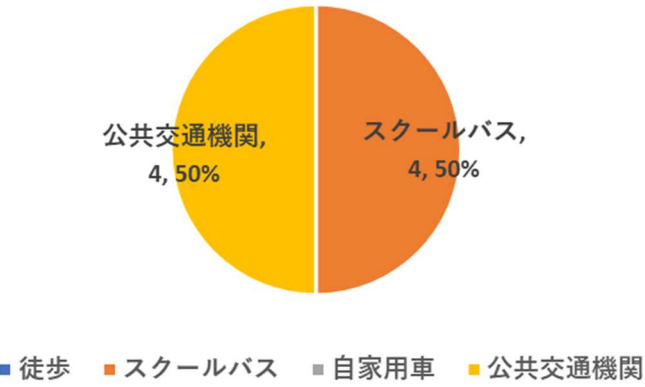
(2) - 1 山ノ内中学校敷地まで徒歩での通学が可能と思える距離

- ①30 分程度 151 世帯
- ②15 分程度 82 世帯
- ③45 分程度 35 世帯
- ④1 時間程度 9 世帯

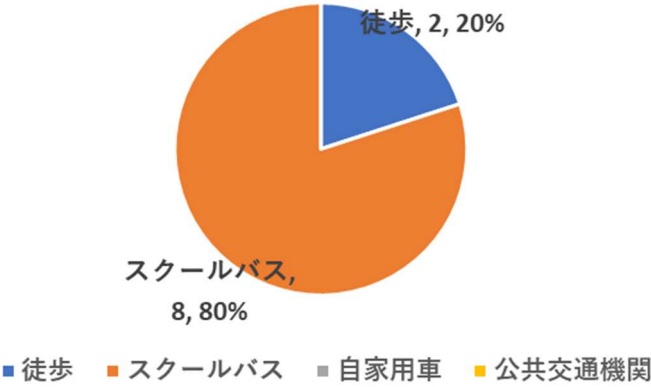


(2) - 2 将来の登校方法で望ましいもの
【東小学校区】

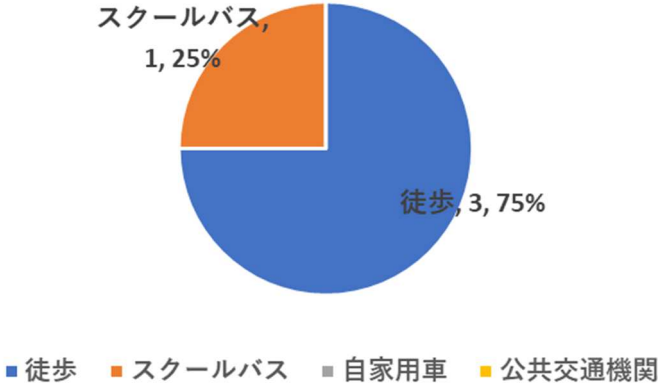
志賀高原



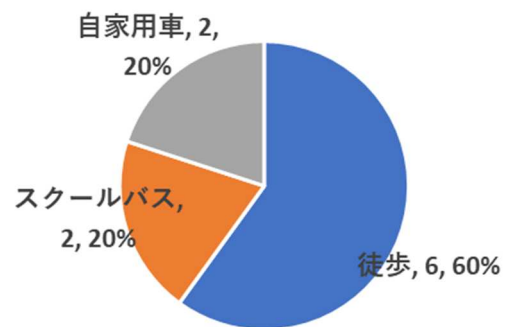
上林・沓野



渋・横湯・天川

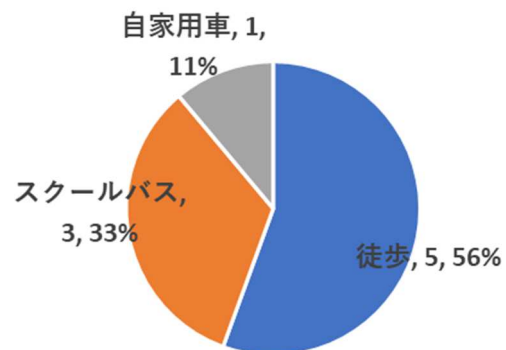


金倉・安代・みろく



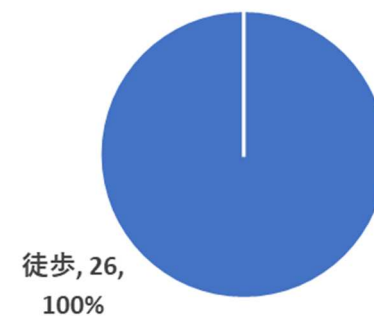
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

湯ノ原



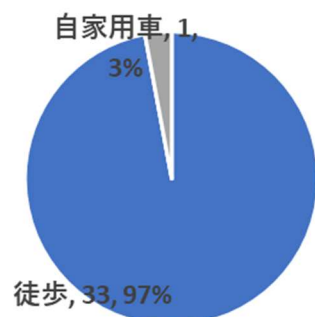
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

湯田中



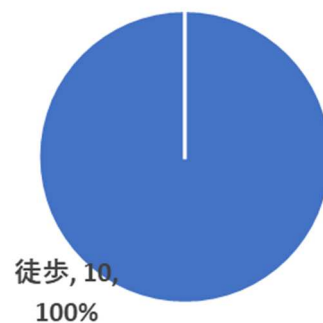
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

上条



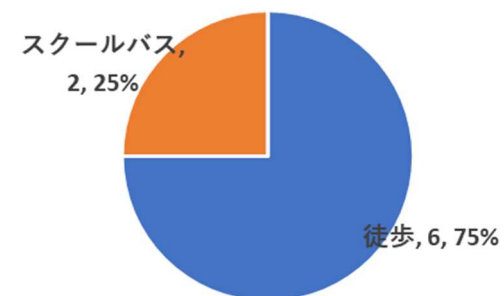
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

星川



■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

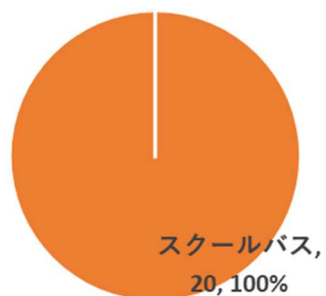
湯河原



■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

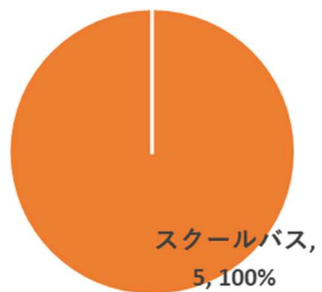
【西小学校区】

須賀川



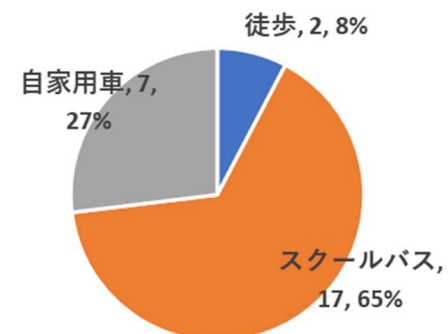
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

前坂



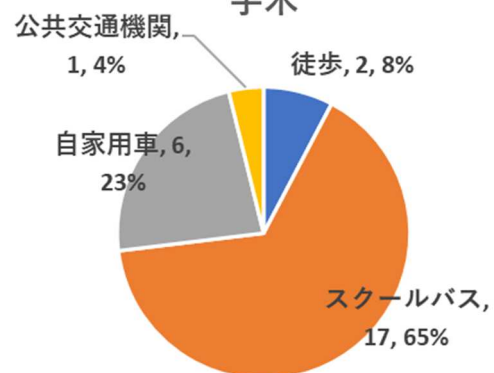
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

横倉



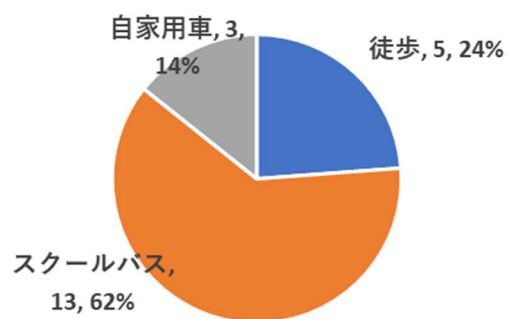
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

宇木



■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

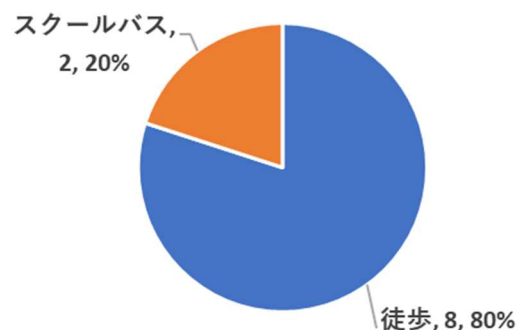
本郷



■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

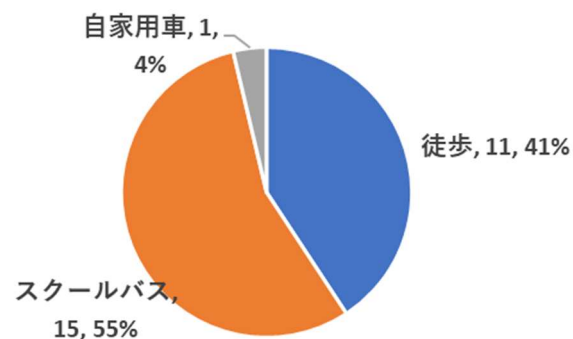
【南小学校区】

穂波温泉



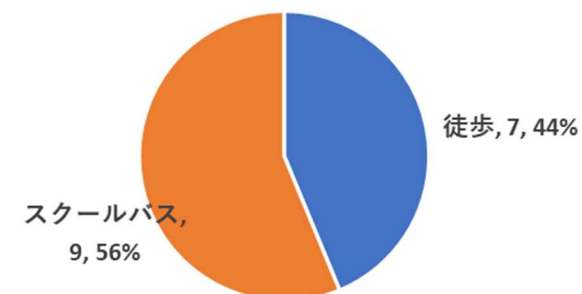
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

佐野



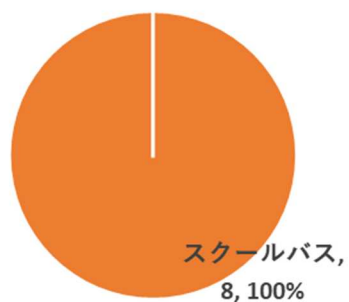
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

戸狩



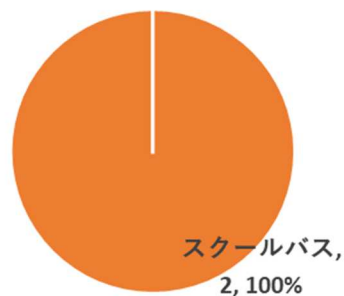
■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

寒沢・菅



■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

角間



■ 徒歩 ■ スクールバス ■ 自家用車 ■ 公共交通機関

【コメント】

徒歩通学が可能と考える距離は徒歩 30 程度が圧倒的に多い。望ましい通学方法については、山ノ内中学校から各地区の中心地が 2.4 km以上の地区で、スクールバスを望む声が多い傾向にある。

(2) - 3 将来の通学方法についてのご意見やご不安

【通学方法に関すること】

- ・基本はバス通学で、防犯として、徒歩通学の場合は集団で登下校する仕組みがあれば好ましいと思います。
- ・児童クラブ利用や保護者のお迎えで、歩いて家に帰る子が少ないので、帰り道 1 人になってしまうと色々と心配。
- ・今より距離がかなり遠くなるので送迎はやむを得ない感じですが毎日となるとこちらも正直負担が大きいと感じます
- ・体力づくり等のためにもできるだけ徒歩での通学が良いと思いますが、小学校一年生にとっては、自宅から徒歩で通学できるのか心配ではあります。
- ・自転車は禁止なのでしょうか。
- ・自宅からの距離が遠くなり、過ごしやすい気候の時はいいのですが、暑い季節に長時間歩くと考えるととても心配です。
- ・夏場の高温が長期化してて熱中症がかなり心配なので、夏場だけでもスクールバスを徒歩圏内の子供も利用出来るようにしてほしい。
- ・距離だけで考えれば、30 分以内ならば身体作りも兼ねて歩けるとは思います
- ・通学は歩けるうちは歩いたほうがいい
- ・子どもは支援級に入級しており、家族としては今のところ山中への進学を希望しています。地域の方に存在を知ってもらったり、本人の世界を広げるためにもゆくゆくは歩いて独力で通学できるようにしていきたいと考えています。通学方法については柔軟な選択肢があればありがたいなと思います。
- ・自宅から東小学校まで 1.5km ですが、低学年の時には時間も掛かり長く感じたと思います。毎日通うことで体力も付き、歩き慣れた道になりましたが、家庭によっては送迎するお宅も多く、全体的に体力の低下が見受けられます。同じ距離でも体力の有る子と無い子の差が多く、保護者の考え方も違うので弱者に合わせた方法にするのが基本になるだろう…と覚悟してます。
- ・児童数も少なく、集団登校も今後は問題が出てくると思います。全国の例を参考にベストな方法があれば賛同したいと思います。
- ・我が家は、幸いにも統合後も徒歩での通学が可能で、あまり心配はありません。しかし、通学が遠く親が自家用車で送迎しているお家をたく

さん知っています。

- ・山ノ内中学校は自宅から中学まで 2.8km 以上ある場合は自転車通学が認められていますが、合併後はどうなりますか？自立も促したいので、なるべく自分で通学してほしいと思っています。悪天候や冬季間、獣が出た！などの時はスクールバスに頼りたいですが。
- ・小学校は近いから大丈夫ですが中学校までとなると悪天候の際の徒歩が少し心配です。
- ・雪のある時期はスクールバス、雪のない時期は徒歩
- ・中学生は歩きでいいと思いますが、小学生は危険も多いのでスクールバスがいいと思います。
- ・小学生低学年で 30 分以上は歩かせられない、距離がありすぎて車とかが心配。
- ・本人は自転車通学を望んでいますが、天候によってはスクールバスも乗れる選択もできればいいかなと思います
- ・徒歩が第一希望だが、現状を考えると送迎希望が多いようなら、個々家庭で送迎よりはせめてスクールバスの方がまだマシかなと思います
- ・大雪の日などは楽ちんバスを利用することも数回あります。人数の制限があるため乗車が難しい日もあったりします。
- ・小学生で長い距離を歩くのは、交通事故や犯罪に巻き込まれたり、クマの被害など不安があります。スクールバスだと安心です。
- ・統合時点では中学 2 年に成りますが徒歩での通学であれば小学校の様に登校班の様なものがあれば安心です
- ・自転車通学の範囲を広くしていただけると幸いです。
- ・小学生の間はスクールバスでの送迎を希望。中学生の学齢でも希望すればスクールバスでの送迎があると助かります。運転手の確保が難しい等あると思うので補助等あれば電車での通学も良いかと思っています。
- ・統合と関係ありませんが中学まで遠いと感じます
- ・車で送迎が 1 番無難かなと考えています。
- ・自転車通学許可の距離を緩和、公共交通機関使用を柔軟にしてほしい。
- ・現時点では我が子の中学校は自家用車送迎になり、仕事を選べなくなります。
- ・あまり中学生が徒歩で通学しているところを目にすることがないので、一人での通学は動物の出没や交通事故や変質者など不安な事は色々あ

りますが、スクールバスの運行があればその不安も少し軽減される気がします。

- ・全ての子どもが安全に安心して通学できるようお願いします!
- ・特別支援を必要としている子達への支援をよろしくお願い致します
- ・徒歩、バスに関わらず事故、事件が起きるリスクを吟味して頂きたい。不審者、バスの事故、交通事故、何が起こるか分からない時代になったので
- ・1年生～9年生では体力も違うし、安全面での心配事も変わってくると思われる。そのため、歩く距離や通学方法が違ってても良いと思う。
- ・徒歩は心配もあるが、体力をつけるために、ある程度は必要かとも思う。
- ・小学一年生が通うにはとてつもない距離だと思っているので、最も安全かつ便利な通学方法の実施を希望します。
- ・高学年になれば歩いて通学できると思いますが、坂も多いので、低学年のうちは少し心配です。
- ・防犯等の面から、通学の際に1人にならない対策があるとありがたいです。
- ・小学生と中学生が乗れるバスは一緒なのか異なるのか

【スクールバスに関すること】

- ・安心安全面もかねて、学校専用のスクールバスをだしてほしいです。
- ・現在バスを利用する中学生は砂利駐車場で降りて横断歩道を渡っていますが、小学校低学年の子だと敷地内にロータリーなど乗降できる場所があると望ましいなと思います。
- ・スクールバスの運行をお願いします。

- ・家が遠い子の為の通学手段として、スクールバスまたは送迎車が必要かと考えています。
- ・ドライバーさんの確保など大変かと思いますが、小学生はスクールバスで安全に送迎してほしいと思います。
- ・我が家は自宅から統合学校まで近いので徒歩でいいですが、南小、西小などの子供達は大変になるのでスクールバスなども検討してあげてほしい。
- ・遠い方の為にスクールバス(無料)があったほうがいいと思います。
- ・どうか、スクールバスなどの導入を進めてほしいと思います。
- ・現状、冬季だけでも南小学区内でのスクールバスの試験的運用を検討頂ければ幸いです。中学生でも、自転車通学の生徒も冬季は徒歩になります。
- ・バス運転手の確保。
- ・小学生と中学生の登下校時間に対応できるようなスクールバスの体制づくりをお願いしたいです。
- ・小学生だけスクールバスだと中学生になった時中学生が徒歩や自転車だと不公平だという意見は出ないのか中学生もバスになるのかどうお考えですか？
- ・可能でしたらスクールバスが家付近までであるとありがたいですが、周りに子供が少ないので回ってもらうのも申し訳ない気がします。
- ・高学年と低学年の登校方法には差があっても良い気がします。低学年は高学年が簡単に歩ける距離を歩かせるのは難しいと思います。
スクールバスでの送迎があればいいです。
- ・自宅周辺でバスに乗って登校するのではなく、現在通っている小学校の近くまでは徒歩で行き、そこからバスに乗って通学というような形も良いのではないのでしょうか。
- ・もし、バス通学になった時には大人が誰か一緒に乗ることを考えているのか
- ・バス通学での事故やトラブルになった時には、判断や責任はどのようにするのも考えていただきたいなと思います。
- ・下校もバスで、各地域へ移動して児童クラブへ行くようにしてもらえれば、今までと同じなので親の負担は少ないのかなと思います。

- ・ 全てスクールバスのほかに、徒歩である程度行きそこからスクールバス(徒歩+スクールバス)のパターンも一案として検討していただきたいです。
- ・ 自宅から学校までの距離で通学方法が変わると思うが、人数も少なくなっているなので、距離は短めで設定してもらえると助かる
- ・ 歩くのは子どもの負担が大きいのので、スクールバスには賛成です。
- ・ 小学生の時は中学校までバスで通わせたい。距離が遠く、登下校に体力を使い勉強に集中できないのではないかと不安。
- ・ 小学生の徒歩での通学は距離が長く無理だと考えます。東部地区以外の地区に在住する児童に対してスクールバスの配備をお願いします。

【通学路に関すること】

- ・ かえで通り、平和観音通りともに歩道が未整備なのが心配。
- ・ 今でも車が通って危ない場所もあるので、子どもたちが少しでも安心して登下校できるようにして少しでもして欲しいです。
- ・ 現在の中学生についても、バスがあっても送迎している保護者も見受けられるため、小学生が増えることを考えると混雑するのかなとも思います。
- ・ 道幅の狭いところで車の通行も多い時間帯に徒歩通学となるのは少し不安です。
- ・ かえで通りなど、スクールゾーンと観光通りが共存する道路について、観光の車、バスの往来や路駐も多く心配です。その他の歩道のない道路に関しても、歩行者の歩く幅にペイント(グリーンベルト)などして、地元民でない方にも通学路、歩道であることを認知して頂く仕組みが必要ではないでしょうか。
- ・ 登下校の際、昇降口の混雑による交通事故

- ・スクールバスや自家用車で送迎が考えられるので安全なロータリーが近くにあるといいなと思います
- ・山ノ内町全体に関してですが、通学時安心できるように監視カメラをつけてほしい。海外の方も増えているため、今後通うお子様たちに対して、何かしら街全体が見守っているということで、各所カメラ設置を希望します。
- ・とにかく熊が多すぎて不安です
- ・信号や線路を渡らなければいけないのが少し不安です。遮断機が無い所もあるので。
- ・熊の出没も心配です。
- ・最近では熊や猿の出没や物騒な事件もあり、心配は残ります
- ・戸狩地区の登校ルートには歩道がほぼ無い、またカーブが多く死角になってしまうところが多く、大きな川もある為、小学生が歩くには不安がある。また街灯も少なく感じられる。
- ・以前にもお話ししましたが、栄橋を渡って学校に向かう道で歩道がないところが危ない。
- ・和田峠付近の熊や猿の出没を懸念している為、徒歩はさせたくありません。
- ・上条周辺で熊の目撃がある。熊が非常に心配である事、夏の暑い時期に途中で休める場所がない事の不安。
- ・安全に通える歩道を作って欲しい。
- ・冬になると道幅が狭くなるので危ないかなと思います。
- ・自家用車で送迎するときも、駐車場が混み合うので、たくさんの方が出入りできるようになるといいと思います。
- ・観光目的の県外ナンバーも増えていて、事故なども散見します。すぐには難しいかと思いますが、道路や歩道広くする等、通学ルートの安全の確保をお願いしたいです。
- ・通学路はしっかりと、除雪、草刈りをしてほしい。子供が触るので、除草剤は使用しないでほしいです。必要があれば危険なところはガードレールをつけるなどして欲しいです。
- ・通学路の歩道の安全や不審者や熊の出没等の事から安全で安心して通学できるようにして欲しいです。

- ・栄橋を渡って、ドラッグストアの辺りの歩道が無く、整備していただきたいです、中学生でも危ないと思います。バスも通ったり観光客も通るところなので、小学生なら尚更です。
- ・歩道が狭い、車通りが多いなどあれば、道や歩道の整備があったほうが良いと思います

【公共交通に関すること】

- ・山ノ内町内の電車の無料化をお願いしたいです
- ・公共交通機関を使っても良いと思います。志賀高原保育園に通っていた際は定期バスに、観光客と乗り、色々な経験が出来たので、そのように感じます。
- ・最寄りのバス停から公共交通機関の路線バスを利用して義務教育課程の学校へ通学できる環境の維持を希望します。なお、路線バスの減便や廃止等によりスクールバスへ移行する場合においても、これまでと同様に児童が徒歩で通える範囲のバス停から乗車できるよう配慮をお願いいたします。また、徒歩圏内に利用可能なバス停が確保できない場合には、オンライン授業等の選択肢を設けるなど、居住地にかかわらず全ての児童が等しく教育を受けられる環境を整備していただくことを要望します。
- ・スクールバスが良いと回答したが 実際には公共交通機関の利用が現実的だと思う。スクールバスだと、山の駅まで送迎してきてください、そこからみんな一緒に学校まで送ります。じゃ 意味がない。山の駅までどんだけ時間がかかるんだ！と、朝の往復だけで仕事に支障が出る家は多々ある。スクールバスなら、各地区を回ってもらわないと各家庭の負担が半端ない。
- ・公共交通機関になるのであれば定期代金は町で全額負担していただきたい。今も沓野からは歩けるのだから、山からそこまでの料金は補助、沓野から大噴泉までの料金は各家庭持ち。沓野から歩けるとされているが、今の時刻表で沓野で降ろされても到底歩いて学校には間に合わない。今も義務教育で時刻表もかわり、全額町負担でもいいと思う。おかしい。本数が少なすぎて、公共交通機関であって、公共交通機関の意

味をなしていない。そこは町で、国で負担してもらいたい。